

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 1, 事業名, 攻めの巡回相談強化事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 1, 施策名, 巡回相談の質的向上による個社支援の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

個社支援の中核となる巡回相談は、これまできめ細かく巡回することを重要視した総件数の管理を中心に行われてきたが、巡回による効果効用等、内容を重視した質的向上が求められている。

2. 事業のねらい

全県統一の指針となるガイドラインを策定し、事業者の経営実態や課題を的確に把握し、実効性の高い具体的な解決策をタイムリーに提案する「攻めの巡回相談」を実行する。

3. これまでの評価結果

Table with 8 columns: 過年度, H29, -, H30, A, R1, R2

ガイドラインにより巡回内容の4分類化(①情報提供、②現状把握、③解決提案、④実行支援)に成功し、③と④の割合を見える化する事ができた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

テーマ設定やターゲットの絞り込みなど、より効果的な巡回を計画的に実施していく。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include activities like '巡回活動ガイドラインの策定・実施' and '効率的な巡回手法の構築'.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 3, 取組コード, 3, 取組コード, 3, 指標名, 巡回件数/経営指導員1人, 指標名, うち解決提案・実行支援の割合, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

巡回の種類を目的別に区分したことで、巡回が質的に向上し、事業者の多角化する経営課題への対応が図られるなど、事業は必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

数的目標が達成されるとともに、量より質へのシフトも計画的に図られていることから、事業は有効である。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

巡回の質的向上により、ターゲットと目的を明確にすることで時間的コストの削減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

ガイドラインが浸透し、質の高い個社支援への改善が図られている。

3. 課題

未加入者への定期的な巡回を計画に盛り込む必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

経営発達支援計画の実行とも連動し、事業継続計画(BCP)の策定支援等、解決提案や実行支援を重視した質の高い個社支援の徹底に引き続き取り組む。